



ボッチャとの出会いが 自分の世界を大きく広げてくれた

杉村英孝選手 ボッチャ東京パラリンピック個人金メダル・団体銅メダル

ボッチャは 自分を表現できる スポーツ

19歳からボッチャを始め、東京パラリンピックで金メダル(個人)と銅メダル(団体)に輝いた杉村選手。ボッチャについて語ってくれました。「私たち障がい者は、周りのサポートのおかげで日常生活を送れています。でもボッチャの試合では、自分の意志でやりたいことを選択し、自分で実行する。それが自分自身を表現することにもつながります。とても素晴らしいスポーツに出会えましたね。」



障がいがある人と ない人の壁を なくしたい

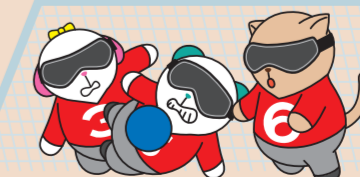
杉村選手にボッチャをプレーしている一番嬉しいことを尋ねると「いろいろな人に出会えること」と答えてくれました。「ボッチャのおかげでいろいろな場所に出かけることができ、多くの人たち

と出会い、自分の世界が広がる。それがスポーツの力でもあると感じています。杉村選手は、東京パラリンピックでの各国の選手との出会いに感謝の気持ちを込めて、「大会に参加してくれてありがとう」と各国の言葉で書いたカードを自ら作り、渡したそうです。読者の皆さんに伝えたいことを尋ねると、次のように話してくれました。「障がいがある人となない人の壁をなくすために大事なことは、接することと知ること。それを楽しみながらできるのがボッチャですから、多くの人に体験してもらいたいですね。そこから、共に生きる社会へのヒントが見つかるのではないのでしょうか。」



「フェアプレー宣言」
しました!!

金メダルには1つ、銀メダルには2つ、銅メダルには3つのくぼみが、メダルの横につけられていて、触るとわかるようになっています。次回のパリパラリンピックでは、どんな工夫がされるのでしょうか。



スポーツ ものしり クイズ

問題 東京パラリンピックのメダルには、目の見えない選手も金・銀・銅の区別ができる工夫があります。次のうちどれでしょう?

- A 異なるニオイがする
- B メダルを振ると異なる音がする
- C メダルの横に異なるくぼみがある

誰もが共にプレーし楽しめる世界へ



ボッチャはジャックボール(白いボール)に自分のボールをいかに近づけるかを競う競技

